

東京湾海況情報 22-03

東京湾水質調査結果（平成22年6月分）

平成22年6月17日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料：東京湾水質調査（内湾：6/7 わかふさ、内房：6/7 ふさみ丸）
千葉県環境研究センター、神奈川県水産技術センター、東京都環境局
関東・東海海況速報

水温・塩分の状況(図1～2、表1)

表層水温は、ほぼ全域で20～23℃台を示し、盤洲周辺と保田以南海域で平年よりやや高い他はほぼ平年並みでした。表層塩分は、内湾の東京・神奈川沿いの沿岸部に28以下の低塩分域が分布していました。鉛直分布から、内湾の成層化が顕著に見られました。

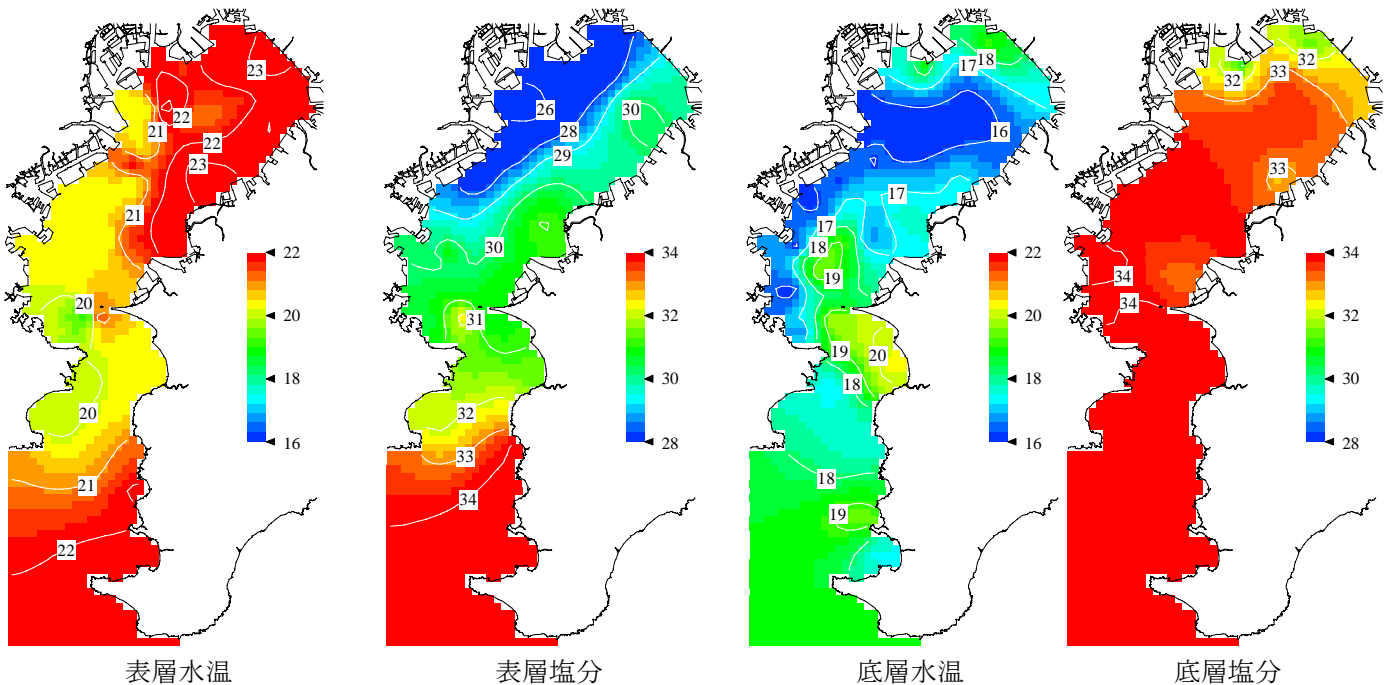


図1 水温と塩分の水平分布

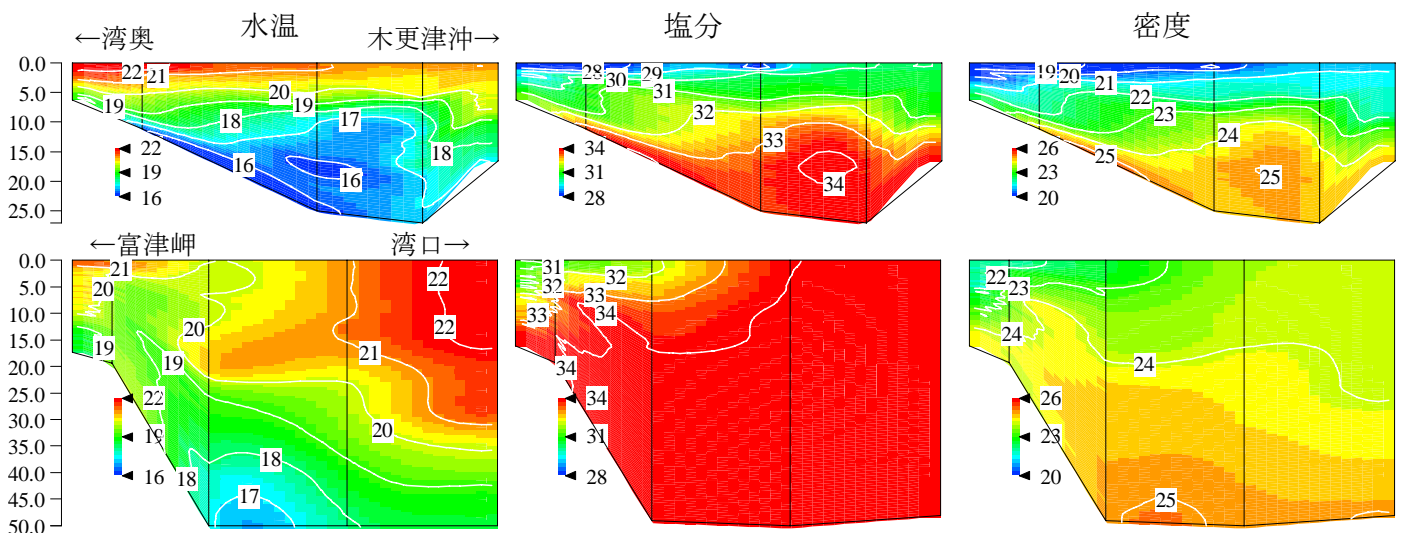


図2 鉛直分布(上:内湾, 下:内房)

赤潮の状況(図3、表1)

赤潮は、内湾北西部で発生しており、pH8.7以上、透明度2m以下を示し、プランクトンがかなり多い状態でした。

優占種は場所によって異なり、内湾北西部は珪藻のスケルトネマ(*Skeletonema costatum*)、内湾北東部から内房北部海域ではレプトキリンドロス(*Leptocylindrus danicus*)でした。その他に、ノクチルカ(*Noctiluca miliaris*:夜光虫)がほぼ湾内全域で見られました。さらに、湾奥部では小型の渦鞭毛藻のギムノディニウム(*Gymnodinium spp.*)が多く見られました。



図3 透明度の分布(m)

貧酸素水塊の状況(図4、表1)

貧酸素水塊は、内湾北部沖合を中心に広範囲に分布していました。鉛直分布からも規模拡大が伺われることから今後の動向には注意が必要です。

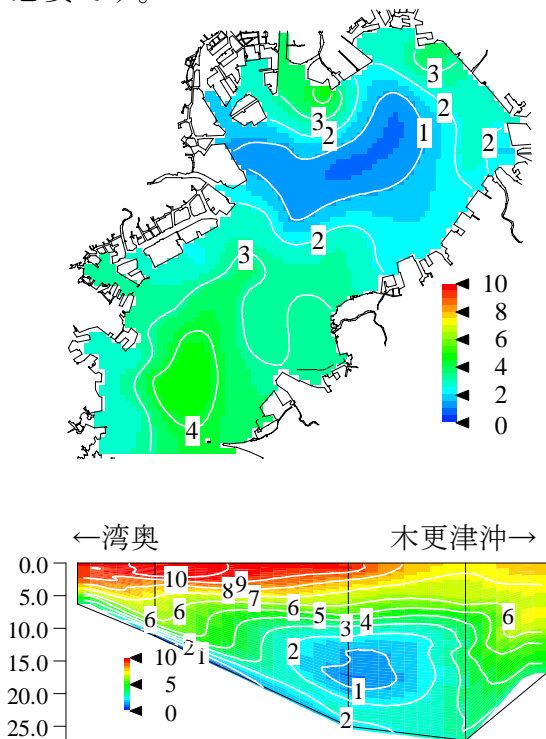


図4 内湾のDO(ml/L)

(千葉県水産総合研究センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています)

栄養塩類の状況(図5、表1)

栄養塩は、全般的に低い傾向でしたが、DINは、東京港周辺で高い値を示していました。

また、PO4-Pは、ほぼ全域で10 μg/L以下と、かなり少なめでした。

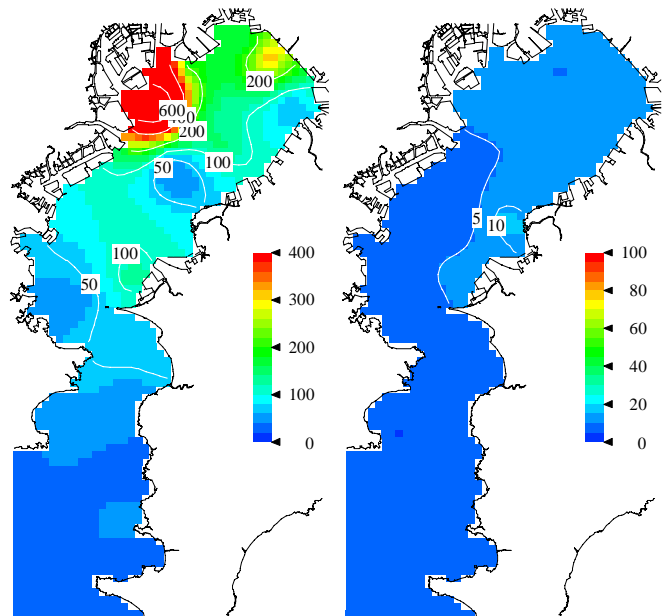


図5 表層の栄養塩類

(左:DIN, 右:PO4-P 単位はいずれも μg/L)

黒潮の状況(図6)

黒潮はN型流路で、房総沖約40kmを北東方向に進んでいます。沿岸では、急潮に注意が必要です。

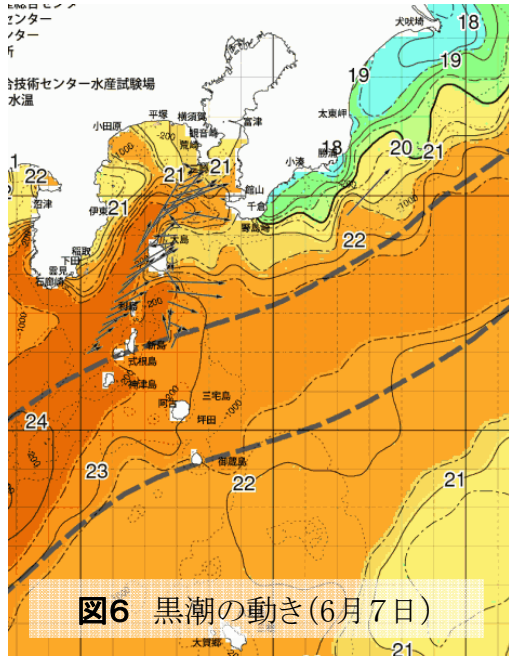
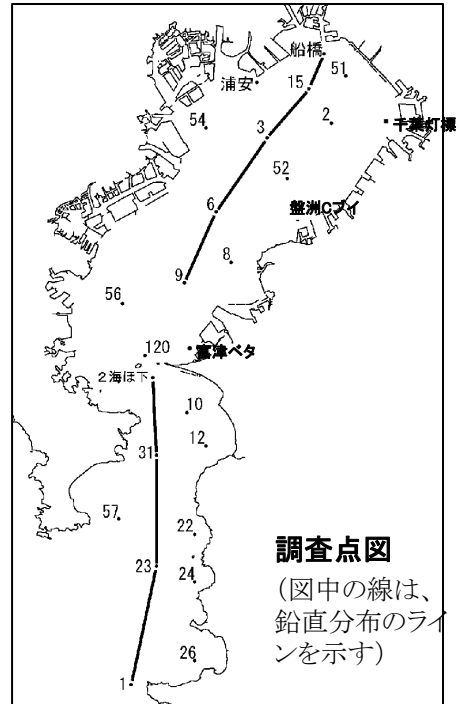


図6 黒潮の動き(6月7日)



調査点図

(図中の線は、鉛直分布のラインを示す)

表1 主な調査点の水質調査結果(調査点は、右図参照)

(調査日 : 平成22年6月7日)

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 ($\mu\text{g/L}$)	リン酸 態リン ($\mu\text{g/L}$)	アンモニア 態窒素 ($\mu\text{g/L}$)	クロロフィ ルa量 ($\mu\text{g/L}$)	
内湾海域	船橋	2.0 (1.4)	22.9 (22.1)	27.85 (27.70)	8.8 (8.7)	3.4 (4.2)	175 (201)	9 (15)	60 (45)	24
	st. 15	1.2 (1.4)	22.5 (22.1)	27.05 (27.43)	8.9 (8.8)	0.8 (2.3)	159 (260)	5 (14)	49 (68)	21
	st. 3	1.8 (1.6)	21.2 (21.5)	27.35 (27.63)	8.8 (8.8)	0.5 (1.5)	199 (243)	8 (20)	71 (55)	30
	st. 6	3.5 (2.0)	21.2 (21.4)	29.62 (28.90)	8.7 (8.7)	1.6 (2.5)	100 (172)	5 (9)	54 (55)	10
	st. 9	3.8 (2.5)	21.0 (20.7)	29.96 (29.84)	8.7 (8.6)	3.3 (3.4)	97 (118)	3 (4)	38 (25)	7
	盤洲Cブイ	3.8 (2.2)	23.3 (21.6)	29.68 (29.91)	8.7 (8.6)	1.9 (3.2)	76 (126)	7 (10)	46 (32)	9
	st. 8 (盤洲Aブイ)	4.0 (2.2)	22.4 (21.6)	30.98 (29.91)	8.5 (8.6)	3.1 (3.2)	74 (126)	11 (10)	31 (32)	8
	富津ベタ	4.7 (2.7)	20.5 (21.5)	30.83 (30.64)	8.6 (8.5)	3.3 (2.9)	107 (77)	8 (5)	82 (25)	8
内房海域	第2海ほ下	6.0 (4.3)	21.1 (20.1)	30.80 (31.79)	8.5 (8.4)		55 (118)	2 (9)	17 (31)	10
	st. 31	6.0 (4.9)	20.0 (19.6)	31.57 (32.08)	8.4 (8.4)		45 (114)	1 (8)	19 (35)	7
	st. 23	11.5 (8.4)	21.0 (20.1)	33.72 (33.13)	8.3 (8.3)		13 (68)	1 (4)	19 (30)	4
	st. 1	18.0 (13.5)	22.3 (20.1)	34.55 (34.08)	8.1 (8.1)		12 (27)	2 (3)	4 (15)	0
	st. 10 (下洲沖)	5.5 (4.5)	20.2 (19.7)	30.89 (31.85)	8.4 (8.3)		61 (98)	1 (7)	22 (27)	
	st. 12 (湊沖)	7.0 (5.1)	20.4 (20.0)	31.40 (31.93)	8.4 (8.3)		48 (89)	2 (6)	24 (24)	
	st. 22 (保田沖)	10.0 (8.3)	21.3 (20.2)	34.07 (33.46)	8.2 (8.3)		18 (28)	1 (2)	15 (15)	
	st. 24 (富山沖)	11.0 (9.3)	22.1 (20.5)	34.45 (33.80)	8.2 (8.2)		15 (24)	1 (2)	13 (14)	
	st. 26 (館山湾内)	16.0 (11.8)	22.1 (20.1)	34.50 (34.04)	8.2 (8.2)		15 (21)	1 (2)	8 (15)	

(): 過去10年間の平均値

※透明度、pHとクロロフィルa量の橙色は赤潮、DOの青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。